

2024年度 「お客さま本位の 業務運営に関する基本方針」 および取組状況



長岡信用金庫



金融庁公表「顧客本位の業務運営に関する原則」について

【参考】

【顧客本位の業務運営に関する方針の策定・公表等】

原則1 金融事業者は、顧客本位の業務運営を実現するための明確な方針を策定・公表するとともに、当該方針に係る取組状況を定期的に公表すべきである。当該方針は、より良い業務運営を実現するため、定期的に見直されるべきである。

【顧客の最善の利益の追求】

原則2 金融事業者は、高度の専門性と職業倫理を保持し、顧客に対して誠実・公正に業務を行い、顧客の最善の利益を図るべきである。金融事業者は、こうした業務運営が企業文化として定着するよう努めるべきである。

【利益相反の適切な管理】

原則3 金融事業者は、取引における顧客との利益相反の可能性について正確に把握し、利益相反の可能性がある場合には、当該利益相反を適切に管理すべきである。金融事業者は、そのための具体的な対応方針をあらかじめ策定すべきである。

【手数料等の明確化】

原則4 金融事業者は、各自を問わず、顧客が負担する手数料その他の費用の詳細を、当該手数料等がどのようなサービスの対価に関するものなのかを含め、顧客が理解できるよう情報提供すべきである。

【重要な情報の分かりやすい提供】

原則5 金融事業者は、顧客との情報の非対称性があることを踏まえ、上記原則4に示された事項のほか、金融商品・サービスの販売・推奨等に係る重要な情報を顧客が理解できるよう分かりやすく提供すべきである。

【顧客にふさわしいサービスの提供】

原則6 金融事業者は、顧客の資産状況、取引経験、知識及び取引目的・ニーズを把握し、当該顧客にふさわしい金融商品・サービスの組成、販売・推奨等を行うべきである。

【従業員に対する適切な動機づけの枠組み等】

原則7 金融事業者は、顧客の最善の利益を追求するための行動、顧客の公正な取扱い、利益相反の適切な管理等を促進するように設計された報酬・業績評価体系、従業員研修その他の適切な動機づけの枠組みや適切なガバナンス体制を整備すべきである。

※各原則の注記は掲載省略

金融庁ホームページ「顧客本位の業務運営に関する原則」について
<https://www.fsa.go.jp/policy/kokyakuhoni/kokyakuhoni.html>

お客さま本位の業務運営に関する基本方針 (金融庁原則1)

・長岡信用金庫は、お客さまの安定的な資産形成に貢献するため、「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」を制定・公表します。

なお、本取り組み方針を定期的に検証し、必要に応じて取組方針の見直しを行ってまいります。

1. お客さまの最善の利益の追求

当金庫では、お客さまの最善の利益を図るべく、高い専門性と企業倫理をもって、お客さま本位の業務運営が企業文化として定着するよう努めてまいります。

2. 利益相反の適切な管理

当金庫では、別に定める「利益相反管理方針」に基づいて、お客さまの利益が不当に害されるおそれのある取引を適切に管理してまいります。

3. 手数料等の明確化

当金庫では、お客さまにご負担いただく手数料やその他費用の内容について、十分ご理解いただけるよう、分かりやすく丁寧にご説明し、情報提供に努めます。

4. 重要な情報の分かりやすい提供

当金庫では、金融商品のご提案にあたり、投資判断に必要な商品の特性やリスク等の重要な情報の提供を行うとともに、お客さまの取引経験や知識に配慮のうえ、分かりやすい表現による説明をいたします。

お客さま本位の業務運営にかかる基本方針

5. お客さまにふさわしいサービスの提供

当金庫では、お客さまの資産状況、取引経験、知識および取引目的、ニーズを把握したうえで、お客さまにとって最適な金融商品・サービスを提供してまいります。
また、お客さまのニーズやご要望に対して、適切な商品をご提供できるよう金融商品や各種サービスの充実に努めてまいります。

6. 職員に対する適切な動機づけの枠組み等

当金庫では、お客さま本位の業務運営を徹底するため、役職員の研修実施や資格取得の奨励を通じて人材育成に取り組んでまいります。

また、職員に対する適切な動機づけを図るため、業績評価体系など枠組みの整備に努めてまいります。



1. お客様の最善の利益の追求(金融庁原則2)

当金庫では、お客様の最善の利益を図るべく、高い専門性と企業倫理をもって、お客様本位の業務運営が企業文化として定着するよう努めてまいります。

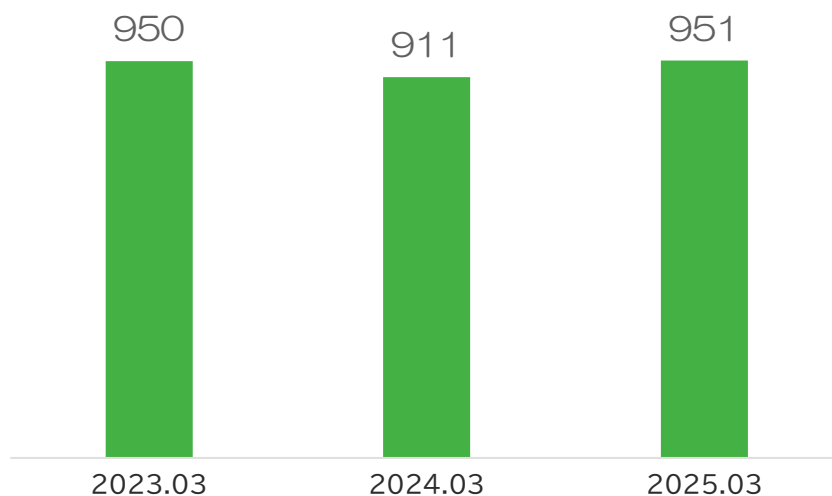
【取組状況】

- 全役職員がお客様の最善の利益が何かを理解するために、お客様との対話を通じたコミュニケーションを図ります。
- お客様に最適と考えられる商品を提案するため、お客様のライフプランや資産運用に関するご意向、知識、経験、資産の状況等の把握に努めます。
- 専担者として本部の営業推進部に3名のMA(マネーアドバイザー)を配置し、お客様の資産形成についてご相談を受けるための体制を整備しております。
- MA(マネーアドバイザー)は職場内研修をはじめ、お客様への同行訪問や、窓口や店頭で説明する際に同席することで、職員の専門知識や商品説明等のスキル向上に努めております。
- 各種パンフレットの利用により、よりわかりやすくお客様のライフプランに沿ったご提案に努めます。
- お客様の安定的な資産形成をお手伝いするため、長期・積立・分散投資のご提案に努めます。
- お客様のライフプランにあわせた保険本来の機能である「そなえる」「ふやす」「のこす」に着目したご提案に努めます。

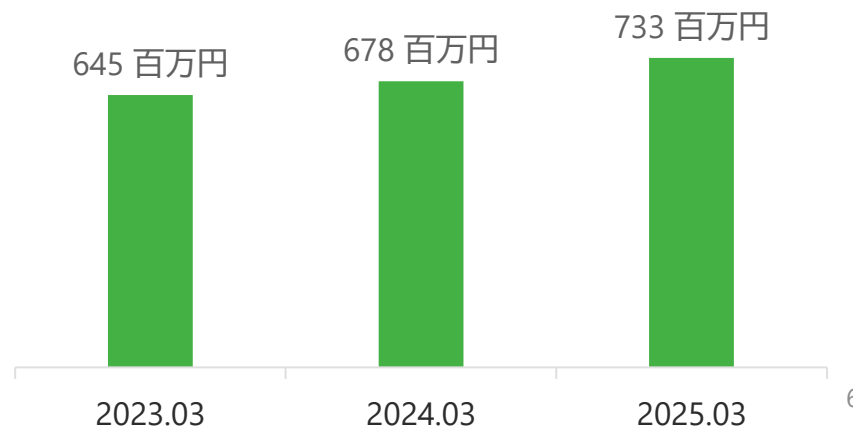
1. お客様の最善の利益の追求^(金融庁原則2)

- 2024年度は、8月に株価下落に伴う、投資信託商品基準価格の下落があり、保有者に対してアフターフォローを行いました。
- 2024年度は、12月末に2020年買い付けのNISA非課税期間の終了に伴い、該当のお客様への説明、手続きを行いました。
- 2024年度は、株価の上昇に伴う投信購入者が多く、新NISAを中心とした口座開設の申し込みが続いたことから、取引件数は増加となりました。さらに積立投資信託継続購入を中心に安定的に資金流入があり、期末の投資残高は前年比5千5百万円増加いたしました。

投資信託 件数



投資信託 残高



2. 利益相反の適切な管理(金融庁原則3)

当金庫では、別に定める「利益相反管理方針」に基づいて、お客さまの利益が不当に害されるおそれのある取引を適切に管理してまいります。

- 当金庫は「利益相反管理規程」を定めており、本規程および別に定める管理方針に基づき、営業店および本部担当部の責任管理者が、お客さまの利益が不当に害される恐れのある取引を管理するとともに、監査部が定期的に検査することで、お客さまの利益を保護しております。
- 特に、高齢のお客さま(満75歳以上)への投資信託・債券の勧誘については日本証券協会が定める「高齢顧客への勧誘による販売に係るガイドライン」を遵守しております。
また、年1回高齢者顧客へのモニタリングを実施し、営業店内部管理責任者によるヒアリングで理解度、投資意欲等について確認しております。
- 当金庫が販売している投資商品の組成会社等との間に資本関係等の関係はありません。また、当金庫は信金中央金庫の取次販売金融機関として受益証券の募集の取り扱い、売買、分配金・償還金の支払い代行を行っておりますが、信金中央金庫からの委託手数料はありません。

2.利益相反の適切な管理(金融庁原則3)

【投資信託販売額上位5銘柄の推移と手数料率】

・下記の一覧表の通り、販売手数料の高い商品を集中して販売しておりません。

順位	2023年度					2024年度			
	ファンド名	販売金額	購入時 手数料 率	信託 報酬率		ファンド名	販売金額	購入時 手数料 率	信託 報酬率
1	しんきんインデックス ファンド225	3,977万円	0.0%	0.880%	1	しんきんインデックス ファンド225	5,528万円	0.0%	0.880%
2	米国連続増配成長株 オープン(女神さま)	2,040万円	3.3%	1.595%	2	米国連続増配成長株 オープン(女神さま)	2,815万円	3.3%	1.595%
3	しんきん 3資産 ファンド(毎月決算型)	1,776万円	2.2%	1.045%	3	しんきん全世界 株式インデックスファンド	2,784万円	2.2%	0.7765%
4	しんきんリート オープン(毎月決算型)	1,250万円	2.2%	1.045%	4	eMAXIS NYダウ インデックス	2,503万円	0.0%	0.660%
5	eMAXIS NYダウ インデックス	1,121万円	0.0%	0.660%	5	たわらノーロード バランス(標準型)	1,497万円	0.0%	0.143%

(分配金の再投資を除いております)

3. 手数料等の明確化(金融庁原則4)

当金庫では、お客さまにご負担いただく手数料やその他費用の内容について、十分ご理解いただけるよう、分かりやすく丁寧にご説明し、情報提供に努めてまいります。

【取組状況】

・手数料を含む重要な情報の分かりやすい提供

金融商品のご提案にあたっては、商品の特性、内在するリスク、取引条件、手数料、その他諸費用など、お客さまに判断いただくための重要な情報については、パンフレットや目論見書などを用いてご説明しております。

・投資信託の手数料開示状況

投資信託については、各商品のパンフレットおよび目論見書に加え、「投資信託商品一覧表」ですべての商品の購入時手数料・信託報酬などの諸費用について開示しております。

3.手数料等の明確化(金融庁原則4)

〈長岡信用金庫商品一覧表〉

	国内債券	国内株式・国内不動産投信・海外債券	国内(株式・不動産投信)・海外債券	国内・海外(株式・債券・不動産投信)	国内・海外(株式・債券)	国内株式			国内不動産投信		海外株式			
商品分類	追加型投信/国内/債券	追加型投信/内外/資産複合			追加型投信/国内/株式			追加型投信/国内/不動産投信		追加型投信/内外/株式	追加型投信/海外/株式			
商品名	しんきん公共債ファンド(HO-インカム)	しんきん3資産ファンド(1年決算型)	しんきん3資産ファンド(毎月決算型)	たわらノーロードバランス(標準型)	グリーンテック株式&グリーンボンド・ファンド(資産成長型)(みらいEarth成長型)	iFree TOPIX インデックス	しんきんみんなの日本株ファンド	しんきんインデックスファンド225	しんきんリリートオープン(隔月決算型)(六つの果実)	しんきんリリートオープン(毎月決算型)	しんきん全世界株式インデックスファンド	eMAXIS NYダウインデックス	米国連続増配成長株オープン(女神さま・オープン)	SMT新興国株式インデックス・オープン
つみたて枠対象商品				○		○						○		○
成長投信枠対象商品	○	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
インデックス型				○		○	○	○			○	○		○
為替変動による価格変動	なし	あり			なし						あり			
投信会社	しんきんアセットマネジメント投資			アセットマネジメント One	大和アセットマネジメント		しんきんアセットマネジメント投資			三菱UFJアセットマネジメント	SBI岡三アセットマネジメント	三井住友トラストアセットマネジメント		
受託銀行	三菱UFJ信託銀行			みずほ信託銀行	りそな銀行	三井住友信託銀行	信金中央金庫	三菱UFJ信託銀行			りそな銀行	三井住友信託銀行		
ファンドコード	59311102	5931119A	59311053	4731417B	04311202	0431N169	5931223A	59311991	59311239	59311052	5931222A	03311138	09311139	6431208C
募集販売単位	1万円以上 1円単位													
申込手数料 (購入の際、申込金額に含まれ、申込金額から手数料を差し引いた金額が運用元本になります。(内枠制))	0.55% (税込0.5%)	2.20% (税抜2.0%)		なし	2.20% (税抜2.0%)	なし	1.65% (税抜1.5%)	なし	2.20% (税抜2.0%)		なし	3.30% (税抜3.0%)	つみたて投信枠利用時は、なし 2.20% (税抜2.0%)	
申込期限	14:30													
基準価格の決定	申込受付日当日	申込受付日翌営業日			申込受付日当日			申込受付日翌営業日			申込受付日翌営業日			
マル優	不適格													
休日区分 (注文受付不可)	東京	ニューヨーク・ロンドン・フランクフルト		ニューヨーク・ロンドン・フランクフルト・香港・韓国	ニューヨーク・ロンドン			東京			ニューヨーク		ニューヨーク・ロンドン・香港	
信託財産留保額	基準価格の0.05%	基準価格の0.3%			なし			基準価格の0.3%			なし		基準価格の0.3%	

3.手数料等の明確化(金融庁原則4)

商品名	しんきん 公債 ファンド (100・イカム)	しんきん3資産 ファンド (1年決算型)	しんきん3資産 ファンド (毎月決算型)	たわら ノーロード バランス (標準型)	グリーンテック株式 & グリーンボンド ・ファンド (資産成長型) (みらいEarth 成長型)	iFree TOPIX インデックス	しんきん みんなの 日本株 ファンド	しんきん インデックス ファンド225	しんきん リート オープン (隔月決算型) (六つの果実)	しんきん リート オープン (毎月決算型)	しんきん 全世界 株式インデックス ファンド	eMAXIS NYダウ インデックス	米国 連続増配 成長株 オープン (女神さま ・オープン)	SMT 新興国株式 インデックス ・オープン
解約・買取請求単位	解約・買取請求 1口													
解約・買取請求 代金の受取	申込日から 4営業日目	申込日から 5営業日目		申込日から 6営業日目			申込日から 4営業日目			申込日から 5営業日目		申込日から 6営業日目		
決算日	毎年3月 /9月6日	毎年9月20日	毎月20日	毎年10月12日	毎年5月 /11月11日	毎年9月19日	毎年4月 /10月22日	毎年1月13日	奇数月の20日	毎月20日	毎年7月5日	毎年1月26日	毎年 9月26日	毎年5月 /11月10日
分配金出金可否	可							不可			可			
信託期間	無制限				2050年 5月11日		無制限			2045年 9月26日		無制限		
設定日	2010年 2月9日	2019年 10月16日	2005年 3月23日	2017年 11月8日	2020年 2月18日	2016年 9月8日	2023年 10月20日	1999年 1月14日	2023年 9月22日	2005年 2月1日	2022年 10月12日	2017年 11月8日	2013年 9月26日	2008年 12月15日
運用管理費用 (信託報酬) (年率・税込)	0.550%	1.001%	1.045%	0.143%	1.6621%程度	0.154%	1.0175%	0.880%	0.990%	1.045%	0.7765%程度	0.660%以内	1.595%	0.660%
定時定額販売単位	1万円以上 千円単位													
詳細は、 必ず目録見書 をご覧ください。	・国内の高い信用力、流動性をもつ公共債(国債、地方債、財投機関債)に投資 ・外貨建て資産なし ・債券の残存は10年程度 ・年2回決算	・国内株式、海外債券(欧州経済通貨同盟参加国および米国のソブリン債券)、国内不動産投資の3つ異なる資産で運用 ・為替影響3分の1 ・年1回決算	・国内株式、海外債券(欧州経済通貨同盟参加国および米国のソブリン債券)、国内不動産投資の3つ異なる資産で運用 ・為替影響3分の1 ・毎月分配型投資	・国内(株式・債券・不動産投資)先進国(株式・債券・株式ヘッジ有、債券ヘッジ有、不動産投資)新興国(株式・債券)の10つ異なる資産で運用 ・(標準型)は、債券と株式・リートヘバラスよく資産分散をします。	・日本世界のグリーンテック関連企業の株式投資成果を「東証株価指数(TOPIX)」の動きに連動させることを目指す ・グリーンボンドとは、環境にやさしいプロジェクト向けの資金調達を目的として発行された公社債をいう。 ・年2回決算	・我が国の株式市場に投資し、投資成果を「東証株価指数(TOPIX)」の動きに連動させることを目指す ・購入時手数料、換金時信託財産留保額なし ・年1回決算	・国内株式で運用 ・TOPIX100の中から個人投資家保有比率および予想配当率等を勘案し、銘柄選定 ・年2回決算	・国内株式で運用 ・上場株式を投資対象。日経平均株価(日経225)に連動することを目指す ・購入時手数料、換金時信託財産留保額なし ・年1回決算	・国内不動産投資信託証券に投資 ・東証REIT指数をベンチマークとし、中長期的に上回ることを目指す。 ・外貨建て資産なし ・2カ月ごとに分配	・国内不動産投資信託証券に投資 ・東証REIT指数をベンチマークとし、中長期的に上回ることを目指す。 ・外貨建て資産なし ・毎月分配型投資	・日本を含む先進国および新興国の株式を対象として算出した「MSCIオールカントリー・ワールド・インデックス」に連動するETFに投資。 ・先進国23カ国と新興国24カ国の投資可能な株式市場の85%をカバーする指数。 ・年1回決算	・ダウ・ジョーンズ工業株平均(NYダウ)の値動きに連動する運用成果を目指す。 ・為替ヘッジを行わない。 ・年1回決算	・「長期の米国の連続増配銘柄」、「米国の経済環境や社会構造の変化を捉えることで高い成長が期待できる銘柄」に投資 ・原則として為替ヘッジを行わない。 ・年1回決算	・MSCIエマージング・マーケットインデックスの値動きに連動する運用成果を目指す。 ・為替ヘッジを行わない。 ・年2回決算 ・「つみたて投資枠」利用の買付時は、販売手数料はありません。

※投資対象分類は当金庫独自の分類です。また、この一覧表は当金庫が独自に作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。
 ※信託財産留保額とは、換金(解約)時に基準価格から控除されます。他の受益者との公平性を確保するために運用資金の一部として信託財産に組み入れられます。
 ※解約・買取の請求は口数をご指定ください。

登録金融機関 関東財務局長
(登金)第248号 長岡信用金庫
投信一商品一1(05.12②)

・基準価格とは、1万口当たりの信託財産の時価の事で、純資産総額(正味資産)を受益権総口数を割ったもので、1万口を買い取る金額で表されています。
 (信託財産＝商品が運用している債券や株式などの有価証券や現金などの財産のこと。)
 ・目録見書とは、投資会社がどういった運用銘柄を選び、どういった運用をするかというルール(もくろみ)の書かれた投資ルールブック。また、運用結果、運用銘柄なども記載しています。
 ・再投資日とは、分配金があった場合に、その資金で商品を決算日の基準価格で追加購入し運用する(分配金再投資)日です。
 ・(リスク(値動きの変化幅)小<国内債券<外国債券<内外株式、リート>リスク大)の順で、債券への投資割合が多いならリスク(値動きの変化幅)は小さく、株式への投資割合が多いとリスクは大きくなるのが一般的な考えです。
 ・債券とは、「借入証書」のようなもの。発行体の違いにより国債、政府債、地方債、社債などがあります。公共債とは、国債、政府債、地方債などをいいます。ソブリン債とは、各国政府や政府機関が発行する債券の総称です。
 ・ファンド・オブ・ファンズとは、複数の投資信託へ投資しているファンド。マザーファンド(投資信託へ資金をまとめて、運用の効率化を図っているファンド)や、不動産投資信託(リート)へ投資しています。
 ・商品は多いですが、投資対象(国内・海外/債券・株式・リート)の違いやその割合の違い、そのほか分配金出金可否、基準価格決定日、手数料、決算日等がそれぞれ違うと考えると理解しやすいと思われます。

4. 重要な情報の分かりやすい提供(金融庁原則5)

当金庫では、金融商品のご提案にあたり、投資判断に必要な商品の特性やリスク等の重要な情報の提供を行うとともに、お客さまの取引経験や知識に配慮のうえ、分かりやすい表現による説明をいたします。

【取組状況】

- 金融商品・サービスの販売にあたっては、手数料をはじめ、基本的なリターン・損失その他リスク、取引条件等の重要な情報について、パンフレット等を活用し、お客さまの立場に立った分かりやすく丁寧な説明を行っております。
- 「重要な情報」は、投資信託では目論見書や目論見書保管書面等を用い、保険業務では契約締結前交付書面、パンフレット、設計書等を用いて、お客さまの知識・経験を踏まえ、明確で分かりやすい表現による説明を行っております。
- お客さまの投資判断に重要な影響を及ぼす情報については、特にご留意していただけるよう丁寧な説明に努めております。



5.お客さまにふさわしいサービスの提供(金融庁原則6)

当金庫では、お客さまの資産状況、取引経験、知識および取引目的、ニーズを把握したうえで、お客さまにとって最適な金融商品・サービスを提供してまいります。

また、お客さまのニーズやご要望に対して、適切な商品をご提供できるよう金融商品や各種サービスの充実に努めてまいります。

【取組状況】

- 金融商品のご提案を行う際は、まず、お客さまのご意向を伺った上で、お客さまのライフプラン等を踏まえたご資産の適切な投資割合を検討し、それに基づき具体的な金融商品のご提案を行うよう努めております。
- 具体的な金融商品のご提案を行う際は、当金庫が取扱う商品について、特定分野の商品に偏ることなく、横断的に様々な商品と比較しながら行うよう努めております。
- お客さまへ商品・サービスの提供後も、安心してお取引を継続いただけるよう、MA(マネーアドバイザー)による訪問活動やアフターフォロー等を継続的に実施しております。
- 8月に株価下落に伴う、投資信託商品基準価格の下落があり、保有者に対してアフターフォローを行いました。

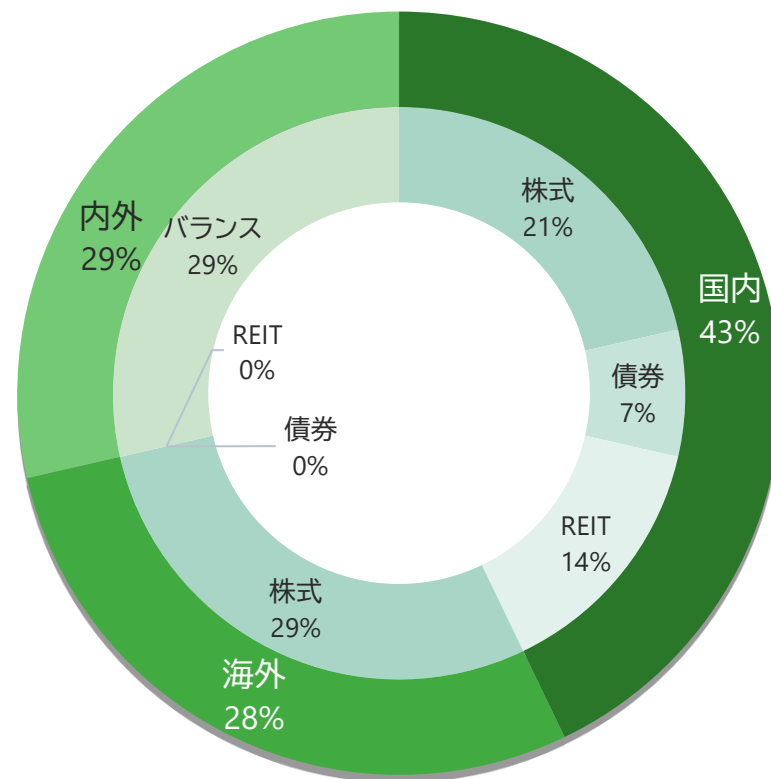
5.お客さまにふさわしいサービスの提供

・お客さまの多様なニーズにお応えし、最適な商品をご選択いただけるよう商品ラインナップの充実に努めます。

【投資信託ラインアップ】

2025年3月末現在

投資対象資産分類	商品数	構成比	
国内	6	42.86%	
	株式	3	21.43%
	債券	1	7.14%
	REIT	2	14.29%
海外	4	28.57%	
	株式	4	28.57%
	債券	0	0.0%
	REIT	0	0.0%
内外	バランス型	4	28.57%
合計	14	100.0%	
	うちノーロード	4	28.57%



5.お客さまにふさわしいサービスの提供

【投資信託の販売額上位5銘柄】

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1位	しんきんリートオープン (毎月決算型)	しんきんインデックス ファンド225	しんきんインデックス ファンド225
2位	しんきんインデックス ファンド225	米国連続増配成長株 オープン (女神さま)	米国連続増配成長株 オープン (女神さま)
3位	米国連続増配成長株 オープン (女神さま)	しんきん3資産ファンド (毎月決算型)	しんきん 全世界 株式インデックスファンド
4位	しんきん3資産ファンド (毎月決算型)	しんきんリートオープン (毎月決算型)	eMAXIS NYダウ インデックス
5位	しんきん世界高配当利回り株 ファンド(毎月決算型)	eMAXIS NYダウ インデックス	たわら ノーロードバランス (標準型)

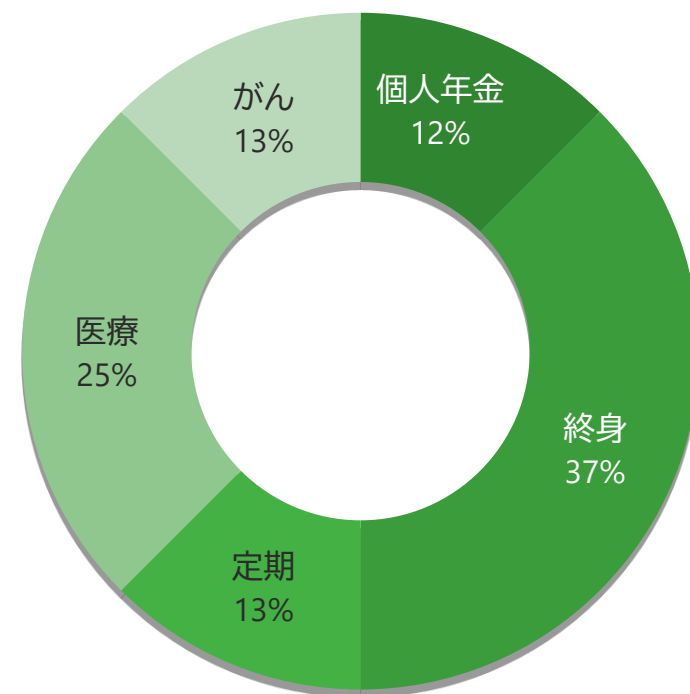
5.お客さまにふさわしいサービスの提供

【保険ラインアップ】

2025年3月末現在

商品種類			商品数	構成比
個人年金保険	平準払	円建	1	12.5%
終身保険	一時払	円建	3	37.5%
定期保険	平準払	円建	1	12.5%
医療保険	平準払	円建	2	25.0%
がん保険	平準払	円建	1	12.5%
合計			8	100.0%

構成比



5. お客様にふさわしいサービスの提供

【保険商品の取扱い】

- お客様のニーズに応じた貯蓄性商品や、お手頃な掛金で保障がつけられる掛け捨ての平準払保険や、住宅・事業性の損害保険商品を取り扱いしております。
- 保険等の販売時についても、お客様の意向に沿った商品か、契約前の「意向確認書」により十分な確認を行います。

2022年～2024年度 保険商品の販売実績

生命保険

単位:件

保険種類	引受保険会社	2022年度	2023年度	2024年度
年金保険	住友生命	17	31	4
終身保険	フコクしんらい生命保険	54	71	51
	住友生命	27	12	15
定期保険	フコクしんらい生命保険	0	0	0
医療保険	アフラック	1	3	1
	フコクしんらい生命保険	2	0	0
がん保険	アフラック	8	0	0

5.お客さまにふさわしいサービスの提供

【保険商品の取扱い】

2022年～2024年度 保険商品の販売実績

損害保険

単位:件

保険種類	引受保険会社	2022年度	2023年度	2024年度	
住宅ローン関連	長期火災保険	共栄火災海上保険	45	34	16
	債務返済支援保険	共栄火災海上保険	—	—	—
業務災害補償(ビジネスプラン)	共栄火災海上保険	1	7	2	
傷害保険	共栄火災海上保険	58	21	9	

(継続扱いは除いてあります)



6. 職員に対する適切な動機づけの枠組み等(金融庁原則7)

当金庫は、お客さまの最善の利益の追求を第一に考えて行動するよう、研修の実施や資格取得の推奨等を通じて、専門知識やスキルの向上に努めてまいります。

【取組状況】

- 投資信託の販売は証券外務員試験、保険の販売は保険募集人試験に合格した職員が携わっております。
- 外部研修への参加やMA(マネーアドバイザー)を講師とした勉強会を通じて、商品知識だけでなく適切な販売方法を指導しております。
- 人事評価は成果や進捗を確認し、評価をする仕組みとしております。業績評価の基準は毎年見直しを行っていますが、現行の業績評価の対象は手数料ではなく販売件数、販売金額としております。

資格取得状況

	2023年3月	2024年3月	2025年3月
1級・2級FP技能士	56人	53人	57人
3級FP技能士	63人	60人	58人
証券外務員登録者数	170人	171人	169人
生命保険募集人登録者数	172人	179人	184人
役職員数(臨時・パート含む)	193人	193人	198人